

(4) 原則的な論文の構成を以下に示す。臨床報告など内容により考慮する必要がある。
Ⅰ 緒言, Ⅱ 研究方法 (材料と方法), Ⅲ 結果 (成績), Ⅳ 総括と考察, Ⅴ 結論, 謝辞など,
文献の順とする。

(5) 見出しは次の順に項目をたて、行の最初の一画をあける。

Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ……

1, 2, 3, 4……

1), 2), 3), 4)……

(1), (2), (3), (4)……

a, b, c, d……

a), b), c), d)……

(a), (b), (c), (d)……

(6) 本文の句読点標記は, () (.) を使用する。

(7) 数字

a. 数字は算用数字とする。

b. 数字を含む名詞, 形容詞, 副詞 (例: 十二指腸, 三角形など) は日本数字とする。

c. 単位は原則として国際単位系の基本単位, 補助単位および組立て単位を使用する (温度は摂氏を使用する)。略語, 略号は国際的に慣用されている用語を使用する。

d. 外国語はすべて原綴りとし, 文頭にあっても大文字を使用しない。

e. 英文の改行に際しては, **word** で切る。

特にワードプロセッサの場合に注意する。

f. 微生物, 動植物などの学名は, イタリックとし最初の文字だけは大きく書く。

2) 文献の記載様式

(1) 本文で引用した順序に一連番号を付して列記し, 本文の末尾に記載する。同一箇所でも複数引用した場合は年代順とする。

(2) 著者名は姓, 名 (外国人はイニシャルのみ) の順とする。

(3) 共著の場合は筆頭者を含め **3名**まで記して, 4人目以下の共著者は, 「ほか」または「**et al**」と略す。ただし, 編集委員会が認めれば4名以上を記載することができる。

(4) 引用文献の表示は原著の表示に従う。英文の場合は, 文頭の語の頭文字のみ大文字とする。

(5) 雑誌文献引用記載は次の方式による。

a. 雑誌論文は著者: 表題, 雑誌略名, 巻: 頁~頁, 発行年, (西暦表示とする) の順に記載する。ただし, 頁は通巻頁とする。

b. 雑誌の略名は当該誌が標榜する略称とする。それ以外は医学中央雑誌の略名表と **Index Medicus** に準拠する。

c. 原書あるいは原論文がえられずに引用する場合は, 末尾に (から引用) と付ける。

d. 投稿したが未発刊の文献は末尾に投稿中, 掲載予定と記載する。

例:

山崎彰啓, 清水政利, 黒崎俊一ほか: 印象採得法の臨床的検討, 補綴誌, 32:403~408,1988.

Beresin,V.E.and Schiesser,F.J.:The neutral zone in complete denture, J.Prosthet.,Dent., 36:356~357,1976.

(6) 単行本文献引用記載は次の方式による。

a. 単行本は著者: 書名, 頁~頁, 発行者, 発行地, 発行年の順に記載する。

b. 単行本の書名は略記しない。

例:

藤田恒太郎: 歯の組織学, 122~130, 医歯薬出版, 東京, 1958.

Clickman,I.:Clinical Periodontology,76~78,W.B.Saunders,Phila.,1953.

(7) 分担執筆の単行本文献引用記載は次の方式による。

分担執筆の単行本は、分担執筆者：分担執筆の表題、編者または監修者、書名、頁～頁、巻などの区別、発行者、発行地、発行年の順に記載する。

例：

津留宏道：テレスコープシステムの理論と実際，林都志夫，保母須弥也，三谷春保ほか編，日本の補綴，277～291，クインテッセンス出版，東京，1981。

Ogle,R.E.:Preprosthetic surgery,edited by Winkler,S.,Essentials of complete denture prosthodontics,63～89,W.B.Saunders,Phila.,1979.

(8) 翻訳書文献引用記載は次の方式による。

翻訳の単行本，論文は著者（翻訳者）：書名（翻訳書名，頁～頁，発行者，発行地，発行年），発行年の順に記載する。

例：

Hickey,J.C.,Zarb,G.A.and Bolender,C.L.(川口豊造):Boucher's prosthodontic treatment for edentulous patients (バウチャー無菌顎患者の補綴治療,397～399,医歯薬出版,東京,1988) , 1985.

3) 表と図の書き方

(1) 表と図は原則として1枚ずつA4版コピー用紙に貼る。用紙の右下端に著者名，図番号を明記する。トレースを希望する図は「要トレース」，掲載希望寸法を右肩部に朱書きする。

(2) 写真は原則として手札版程度に作成し，上下を明らかにしてA4版コピー用紙に貼る。右下端に著者名，図番号を明記する。写真糊などを使用すること。

希望寸法を右肩部に「1/2縮小」などと**朱書き**する。

カラー刷りの希望は明記する。

(3) 表と図（写真を含む）は本文で引用順に，表は表1，表2……，図（写真を含む）は図1，図2……のように一連番号をつけて，本文の最後に綴じる。

(4) 表の番号と説明文は表の上部につける。長い説明は下部に記載する。

(5) 図の番号と説明文は図の下部につける。

(6) 本文への挿入箇所は本文右欄に**朱書き**で示す。

(7) 図表の説明文が英文のときは，和文をつける。

4) 要約

200字程度の和文要約を論文末尾に添付する。

3. 校正

1) 校正は朱書きで日本工業規格（JIS Z8280-1965）に準拠して行う。

2) 校正を修了した印刷原稿と本原稿は速達，書留郵便で速やかに返送する。